

文化ボランティアが「あなたと・あなたの街」を元気にする！

ふくおか 文化ボランティアフォーラム 2018



第10回記念フォーラム 新しいボランティア像を探して！



ふくおか県民文化祭

12月2日(日)

エルガーホール7F (中ホール) 博多大丸東館



この事業は、宝くじの収益金を活用して実施しています。

—— 主催 ——

ふくおか県民文化祭福岡県実行委員会、福岡県、福岡県教育委員会、
福岡県文化団体連合会、福岡県障害者社会参加推進センター
NPO法人 文化ボランティア とびうめの会

[プログラム]

10:00～12:10

【ご挨拶】

NPO 法人 文化ボランティア とびうめの会

代表理事 田中 正治

【問題提起】

「持続可能な地域文化のあり方について」

講師 ニッセイ基礎研究所社会研究部 芸術文化プロジェクト室

主任研究員 大澤 寅雄氏

【講演】

「“草の根”活動から見える“これからのボランティア像”」

講師 特定非営利活動法人ふくおかNPOセンター

代表 古賀 桃子氏

【トークセッション】

ニッセイ基礎研究所

大澤 寅雄氏

ふくおか NPO センター

古賀 桃子氏

アートボランティア・プランナー

藤原 旅人氏

昼休み 12:10～13:10

13:10～14:10

【事例報告】

- ① 地域に特化した民間劇場が盛況な訳！～「アイアンシアター」からの報告～
北九州市「枝光本町商店街アイアンシアター」運営代表 鄭 慶一氏
- ② 学生ボランティアの実態 ～一人一人の“点”を“線”につなぎ、つむぐ活動～
西南学院大学ボランティアセンター 山口由美子氏
- ③ 未来を創る私の思い ～やれることは全部やります～
「古賀市アートバス」や中学校の「朝勉＆朝弁」に取り組んでいるアーティスト
坂崎 隆一氏

休憩 10分

14:20～16:00

【とことん討論会】

アートボランティア・プランナー 藤原 旅人氏

「これからの10年を見通して、今、何をすべきかについて」を参加者全員で
とことん討論します。

16:00～16:30

【まとめ・講評】

講師の大澤寅雄氏と古賀桃子氏、コーディネーター藤原旅人氏からの講評。

大澤 寅雄 (おおさわ とらお)



(株)ニッセイ基礎研究所芸術文化プロジェクト室主任研究員、NPO 法人アート NPO リンク理事、NPO 法人 ST スポット横浜監事、九州大学ソーシャルアートラボ・アドバイザー。

2003 年文化庁新進芸術家海外留学制度により、アメリカ・シアトル近郊で劇場運営の研修を行う。帰国後、NPO 法人 ST スポット横浜の理事および事務局長を経て現職。

共著＝『これからのアートマネジメント“ソーシャル・シェア”への道』
『文化からの復興 市民と震災といわきアリオスと』

『文化政策の現在3 文化政策の展望』

『ソーシャルアートラボ 地域と社会をひらく』

古賀 桃子 (こが ももこ)



1975 年福岡市生。

特定非営利活動法人ふくおかNPOセンター代表。

[草の根から、社会を描く。]を合言葉に、NPO 等の組織マネジメント支援の他、企業・行政・公民館・社会福祉協議会・児童館等の多様な担い手間のコーディネーション等、多角的なアプローチでの地域づくり・社会づくりの黒子役に努めている。

日本NPOセンター理事、福岡市「共創による地域づくりアドバイザー」、福岡女学院大学非常勤講師等を歴任。

また、「泡盛新聞」九州局長として、沖縄県の産業振興に向け、泡盛等の県産品 PR ボランティア活動にも注力中。

藤原 旅人 (ふじはら たびひと)



1984 年三重県生まれ。

現在は九州大学大学院芸術工学府博士後期課程在籍。文化政策学、アートマネジメント、芸術学を専攻。2008 年からプロジェクト型アートに魅了され、アートボランティアを遍歴しながら文化人類学的参与調査を展開。博士研究では、実際のアートプロジェクトや芸術祭を通じたアドボカシー人材のマネジメントに関する調査研究を通し、わが国黎明期のアートボランティアの成立と展開を跡づけている。

さいたまトリエンナーレ 2016 サポーターコーディネーターを経て、2017 年にはアーツカウンシル新潟プログラムオフィサーを務めた。

[illegible]